



クラスマッチ行われる！ ～秋晴れのもと、生徒も先生もいい汗かいた？～

11月13日(金)はクラスマッチ。春は新型コロナウイルス感染防止の臨時休業のために中止になり、待ちに待った秋のこの日。コロナ対策を万全にし、当日は爽やかな晴天に恵まれ実施されました。

男子はサッカーとバドミントン、女子はバレーとバドミントンで熱戦が繰り広げられ、右表の結果になりました。

大会の見せ場の一つは、生徒の優勝チームが職員チームと対戦するエキシビジョンマッチ。私はバドミントンに出場するため第1体育館へ。さて、バドミントンは5年ぐらいいやっていないので、念入りにストレッチをやって、T先生と3年Mさんを相手にウォーミングアップ。本番は何とかケガをしない程度に楽しむことができました。

スポーツが得意かどうかなんて、悩まなくてもよい本校のクラスマッチ。生徒と職員が共に楽しみ、親睦を深められる、まさに小規模校の良さが実感できる一日でした。

順位	クラス	男子サッカー		男子バドミントン		女子バドミントン		女子バレー		減点	得点
		順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点		
1	3-1	5	80	5	80	1	200	1	200		560
2	2-1	1	200	2	150	3	120	6	70		540
3	1-2	8	40	1	200	2	150	7	50		440
4	3-3	6	70	7	50	4	100	2	150		370
5	2-3	7	50	3	120	8	40	4	100		310
6	1-1	2	150	8	40	6	70	8	40		300
7	3-2	3	120	4	100			5	80		300
8	1-3	9	20	6	70	5	80	3	120		290
9	2-2	4	100	9	20	7	60	9	20		200



在校生兄弟による選手宣誓



抜けるような青空のもとでキックオフ！



秘伝のサーブが炸裂



大人げない教員チーム「かかってきなさい！」



次はだれがサーブだっけ？

困ったお話(その15) (蛍光灯の功)

仕事から、さまざまな相談が私のところに持ち込まれる。何とか解決につながるよう、心血を注いでいるのだが、結果が出てこないものが多く困っている。これでわかるように、私は課題解決能力の低さでは人後に落ちない。自信をもって「子ネコ並み」と断言したい。しかし子ネコはまだいい。つぶらな瞳で「にゃ〜ん」と鳴いていれば、誰かに救ってもらえるからだ。子ネコよ。私もつぶらな瞳で「にゃ〜ん」と鳴きたいんだぞ。

校長室で深遠な思索にふけていると、さっきから真つ暗な窓の外でクスクスと女の子の笑い声が聞こえる。思わずレースのカーテンを開けると、そこには1年生二人の顔があった。驚いた。そして鳴かなくてよかった。

「あはは。校長先生、真剣な顔して全然気づかないんだもの」。見ると彼女たちの手には自習用のプリントが。訊くとなんと、校長室の蛍光灯の明かりで勉強していたという。そこで私は以下の感動的な話を語り、少女たちは雷に打たれたように激しく心を揺さぶられたようだった。

「君たちは『蛍の光』の歌は知っている？」「うん」「貧しかった昔の人は夏には蛍を集め、夜その光で勉強したそうだよ。それだけ、学ぶということは大切なことなんだ。それを実践している君たちは偉い！」「ふ〜ん」

いよいよ期末考査。蛍雪の功ならぬ「蛍光灯の功」で、彼女たちの良い結果を祈らずにはおられない。



このほうが学校魅力化に繋がると思う